

# 「公」と「私」 を生きる

現代ベトナム社会と女性

日時：2013年10月21日(月)  
午後2時50分～4時20分  
場所：18号館4階  
コラボレーションルーム3

◆話題提供者：

加藤敦典 (EALAI・特任講師)「集団」をつくりあげる：ベトナムの婦人会の公共性をめぐるむらの女性の話しあい

伊藤未帆 (EALAI・特任講師)「学歴社会」化するベトナムと家族の女子教育戦略

◆コメンテーター：

瀬地山角 (国際社会科学専攻・教授)



近代化の経験は女性たちに何をもたらしたのか。今日、世界のいたるところで、近代化が引き起こす経済成長や民主化が、女性の置かれた立場にポジティブな変化をもたらさないという状況が明らかになっている。その一方で、女性たちは近代的な規範と伝統的な規範を織り合わせながら、「公」と「私」の領域のなかでうまく生きている。

本オープンセッションでは、移行経済期を迎え大きく変容しつつあるベトナム社会に生きる女性に焦点を当て、公的な相互扶助組織である村落の婦人会と、女子学生の大学進学を取り巻く家族の適応戦略という二つの視点から報告を行う。そのうえで、自分たちが置かれた社会やさまざまな規範にうまく対応し、ときに巻き込まれながら、あるいは別のオルタナティブな場を見出しながら暮らす女性たちの主体性に着目し、今日の東アジア社会で暮らす女性たちの役割や女性性とはなにかについて議論してみたい。